

各 位

会 社 名 株式会社クレックス
代表者名 代表取締役社長 小野 和一
(JASDAQ コード番号 : 7568)
問合せ先 取締役管理部長 若山 博史
(TEL 043-234-2242)

SHC 株式会社による当社株式の公開買付期間延長等に関するお知らせ

SHC 株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社株式に対する公開買付けについて、本日、公開買付者より、別紙のとおり「公開買付届出書の訂正届出書の提出に伴う『株式会社クレックス（証券コード：7568）の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ』の訂正に関するお知らせ」が公表されましたので、お知らせいたします。

なお、これにより買付け等の期間及び決済の開始日が下記のとおり訂正されております。訂正箇所には下線を付しております。

また、平成 25 年 9 月 27 日付「SHC 株式会社による MBO の実施及び応募の推奨に関するお知らせ」で表明致しました当社の意見につきましては変更はございません。

記

1. 買付け等の期間

(訂正前) 平成 25 年 10 月 1 日(火曜日)から平成 25 年 11 月 13日(水曜日)まで (30 営業日)

(訂正後) 平成 25 年 10 月 1 日(火曜日)から平成 25 年 11 月 18日(月曜日)まで (33 営業日)

2. 決済の開始日

(訂正前) 平成 25 年 11 月 20日(水曜日)

(訂正後) 平成 25 年 11 月 25日(月曜日)

(別紙)

「公開買付届出書の訂正届出書の提出に伴う『株式会社クレックス（証券コード：7568）の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ』の訂正に関するお知らせ」

以上

平成 25 年 11 月 1 日

各 位

千葉県船橋市古作四丁目 12 番 21 号
S H C株式会社
代表取締役 平山 貞夫

公開買付届出書の訂正届出書の提出に伴う
「株式会社クレックス（証券コード：7568）の普通株式に対する公開買付けの
開始に関するお知らせ」の訂正に関するお知らせ

S H C株式会社（以下「公開買付者」といいます。）は、平成 25 年 9 月 27 日付で株式会社クレックス（以下「対象者」といいます。）の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）を実施しておりますが、本日、本公開買付けに係る公開買付届出書の訂正届出書を関東財務局長に提出するとともに、本公開買付けに係る買付け等の期間を延長いたしました。これに伴い、平成 25 年 9 月 27 日付「株式会社クレックス（証券コード：7568）の普通株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」の内容を下記のとおり訂正いたしますので、お知らせいたします。

記

（訂正箇所には下線を付しております。）

1. 買付け等の目的等

- (3) 本公開買付価格の公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置等、本公開買付けの公正性等を担保するための措置

- ⑥ 価格の適正性及び本公開買付けの公正性を担保する客観的状況の確保

（訂正前）

公開買付者は、本公開買付けの買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）として法令に定められた最短期間が20営業日であるところ、30営業日に設定しております。公開買付者は、公開買付期間を比較的長期に設定することにより、対象者の株主の皆様には本公開買付けに対する応募について適切な判断機会を確保するとともに、対象者普通株式について公開買付者以外の者にも対抗的な買付け等を行う機会を確保し、もって本公開買付価格の適正性を担保することを企図しております。

（後略）

（訂正後）

公開買付者は、本公開買付けの買付け等の期間（以下「公開買付期間」といいます。）として法令に定められた最短期間が20営業日であるところ、33営業日に設定しております。公開買付者は、公開買付期間を比較的長期に設定することにより、対象者の株主の皆様には本公開買付けに対する応募について適切な判断機会を確保するとともに、対象者普通株式について公開買付者以外の者にも対抗的な買付け等を行う機会を確保し、もって本公開買付価格の適正性を担保することを企図しております。

（後略）

2. 買付け等の概要

(2) 日程等

② 届出当初の買付け等の期間

(訂正前)

平成 25 年 10 月 1 日(火曜日)から平成 25 年 11 月 13日(水曜日)まで (30 営業日)

(訂正後)

平成 25 年 10 月 1 日(火曜日)から平成 25 年 11 月 18日(月曜日)まで (33 営業日)

(4) 買付け等の価格の算定根拠等

② 算定の経緯

f. 価格の適正性及び本公開買付けの公正性を担保する客観的状況の確保

(訂正前)

公開買付者は、公開買付期間として法令に定められた最短期間が20営業日であるところ、30営業日に設定しております。公開買付者は、公開買付期間を比較的長期に設定することにより、対象者の株主の皆様の本公開買付けに対する応募について適切な判断機会を確保するとともに、対象者普通株式について公開買付者以外の者にも対抗的な買付け等を行う機会を確保し、もって本公開買付価格の適正性を担保することを企図しております。

(後略)

(訂正後)

公開買付者は、公開買付期間として法令に定められた最短期間が20営業日であるところ、33営業日に設定しております。公開買付者は、公開買付期間を比較的長期に設定することにより、対象者の株主の皆様の本公開買付けに対する応募について適切な判断機会を確保するとともに、対象者普通株式について公開買付者以外の者にも対抗的な買付け等を行う機会を確保し、もって本公開買付価格の適正性を担保することを企図しております。

(後略)

(8) 決済の方法

② 決済の開始日

(訂正前)

平成 25 年 11 月 20日(水曜日)

(訂正後)

平成 25 年 11 月 25日(月曜日)

4. その他

(4) 投資者が買付け等への応募の是非を判断するために必要と判断されるその他の情報
(訂正前)

対象者は、平成25年9月27日に「平成26年3月期(第54期)配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。当該公表によれば、対象者は、平成25年9月27日開催の取締役会において、本公開買付けが成立することを条件に、対象者が公表した平成25年8月6日付「平成26年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の平成26年3月期の配当予想を修正した上、無配とすることを決議しているとのことです。

(訂正後)

① 対象者は、平成25年9月27日に「平成26年3月期(第54期)配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。当該公表によれば、対象者は、平成25年9月27日開催の取締役会において、本公開買付けが成立することを条件に、対象者が公表した平成25年8月6日付「平成26年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の平成26年3月期の配当予想を修正した上、無配とすることを決議しているとのことです。

② 対象者は、平成25年10月31日に「平成26年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。当該公表の概要は下記のとおりです。なお、下記の公表後も、「1. 買付け等の目的等」「(3) 本公開買付け価格の公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置等、本公開買付けの公正性等を担保するための措置」「① 公開買付者における独立した第三者算定機関からの株式価値算定書の取得」に記載の株式価値算定書作成の基礎となる財務予測の数値に影響がないことを確認しております。また、下記は、対象者が公表した内容を一部抜粋したものであり、公開買付者はその正確性及び真実性について独自に検証し得る立場になく、また実際にかかる検証を行っておりません。詳細につきましては、当該公表の内容をご参照ください。

記

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,074	1,162	1,146	641	45円16銭
今回修正予想(B)	8,162	1,246	1,256	776	54円72銭
増減額(B-A)	88	84	110	135	—
増減率(%)	1.1	7.3	9.6	21.2	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	7,733	1,090	1,080	676	47円69銭

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,187	638	353	24円87銭

今回修正予想(B)	5,407	919	514	36円22銭
増減額(B-A)	220	281	161	――
増減率(%)	4.2	44.1	45.6	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	5,035	728	412	29円04銭

修正理由

平成26年3月期第2四半期(累計)の連結及び個別の業績予想について、以下の理由によりそれぞれ変動が生ずる見通しとなったことから修正するものです。なお、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、連結、個別とも平成25年5月10日に発表した前回の予想数値を変更しておりません。

1. 連結業績予想数値

売上高につきましては、前回予想に比べ若干の増加となる見通しです。利益につきましては、前回予想に比べ固定資産の売却利益及び売上げの増加等により、前回予想を上回る見通しです。

2. 個別業績予想数値

売上高につきましては、前回予想に比べ子会社に対するガス卸売の増加等により、前回予想を上回る見通しです。

利益につきましては、子会社に対するガス卸売利益が前回予想を上回ったこと等から、前回予想に比べ増加となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上